

# あいちの印刷

# 5

2007.5  
No.426



## もくじ

巻頭言「グリーンプリンティング認定制度の 取得をお勧めします」 / 副理事長・環境委員長 鈴木正博 .....	3
4 月期理事会 通常総代会上程議案を理事会承認.....	4
グリーンプリンティング認定工場 第4期認定/申請受付中 .....	6
第3回グリーンプリンティング認定工場 ㈱エムアイシーグループ本社が認定 .....	7
「ソイシール」廃止へ .....	7
身近な催し物のお知らせ .....	8
改正男女雇用機会均等法がスタート .....	9
家内労働旬間 .....	9
O/O サロン .....	10
印刷機材の総合商社 ㈱光文堂 .....	11
岡崎支部・平成19年度総会 お知らせ/事務局だより .....	12

# 「グリーンプリンティング認定制度の取得をお勧めします」

副理事長・環境委員長 鈴木 正博

地球規模で環境の悪化が広がり各国で気象の異変が起きています。各国が環境対策を重要課題として取り組んでいます。日本国政府も補助金の予算を組み、企業、国民に対して環境改善を呼びかけており環境破壊の現状は皆さんも良くご存知と思います。それに答えて日印産連は、環境に優しい印刷物を製造している工場を認定公表しています。

一方で「印刷を発注する企業やユーザー」にも、印刷会社の環境への取り組みを知ってもらうための周知活動をスタートしています。大企業のNTTが一部の印刷物にグリーンプリンティングマーク（略称・以下、GPマーク）を表示したと聞いておりますし、東京都庁など積極的にGPマークの表示を強く働きかけています。このような働きかけが発注者側の意識を変え、有効な環境基準の認証を受けていない印刷会社は、受注に悪影響が出てくると考えています。そこで、環境委員会としてはグリーンプリンティング認定制度の取得を希望する組合員を完全サポートするプロセスを作りました。このサポート体制は日印産連の理解を取り付けてあり、

全国で始めて行うサポート体制です。愛印工組の組合員で認定を受けた企業の社員がサポートします。資料の作成方法とか製造工場の現状をどうかえればよいか、わかりやすくアドバイスいたします。「あいちの印刷6月号」に勉強会への参加要領が記載されますから是非お申し込みしてください。それと、取得・更新費用も少なく取得企業の過度な負担になりません。今回サポートが好評でしたら、来年も続けたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

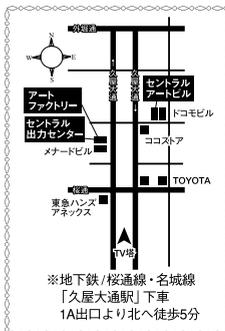


東海地区最大級!!  
**画材・額縁  
絵画・ギャラリー**

セントラル画材株式会社

名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル2階  
TEL: 052-953-8628 Fax: 052-951-2641  
DTP 出力・大型カラー出力 (ポスター・屋外対応プリント他)

URL: <http://www.central-gazai.co.jp>



※地下鉄/桜通線・名城線  
「久屋大通駅」下車  
1A出口より北へ徒歩5分



必ず貴方の仕事の力になります



**CENTRAL GROUP**

- (株)セントラルグラフィックセンター / 営業部  
名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル2階  
Tel: 052-953-8628 Fax: 052-951-2641
- (株)セントラル画材(株) / 企画営業部  
名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル3階  
Tel: 052-953-8737 Fax: 052-951-8993
- セントラル フレームセンター  
名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル3階  
Tel: 052-950-6566 Fax: 052-950-6518  
額縁・松崎コレクション・フレーム・額縁販売
- セントラル アートファクトリー  
名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル3階  
Tel: 052-951-8994 Fax: 052-951-8993  
フレーム加工・看板制作等
- セントラル アートギャラリー  
名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル4階  
Tel: 052-950-6566 Fax: 052-950-6516

## 通常総代会上程議案を理事会承認

### 細井俊男氏が副理事長就任

(新日本印刷㈱)

東南支部長・  
経営革新委員長兼任

### 能登半島地震に義援金贈る



挨拶する白井理事長

平成19年4月13日(金)午後3時30分から、平成19年度4月期理事会が26名の出席により、愛知県印刷会館3階・会議室で開かれました。

まず最初に白井絃一理事長が「先日、全印工連の常任理事会で共済事業担当の利根川常務から『愛印工組さんのおかげです』と感謝されました。愛印工組の生命共済の実績が全国の中でも突出した数字になっているからです。そのことを皆様方に報告させていただきます。これは皆様のご協力と、猪飼委員長の努力の賜と感謝申し上げる次第です」と挨拶。同理事長が議長を務め議案審議が進められました。以下、その内容の要旨です。

#### 1) 組合員の加入について

(㈱岩瀬印刷(西尾支部)、(㈱)アートワークナカハラ(西尾支部)の加入が承認されました。

#### 2) 平成19年度通常総代会上程議案

平成18年度事業報告及び決算、平成19年度事業計画案及び収支予算案、経費の賦課及び徴収方法、平成19年度常勤役員報酬額、支部再編、定款一部変更、規約変更、役員補充の議案及び平成19年度執行部編成と慶弔規定の変更について原案通りに理事会承認を得ました。なお、支部再編の件では、各地域は組合員数10社以上で支部を構成し、

平成20年度から14支部で活動していくこととなります。また、役員補充の件では、組合事業の多様化に対応するため、細井俊男氏の副理事長就任が承認されました。同氏は東南支部長と経営革新委員長を兼任されます。

#### 3) 報告事項

白井理事長が全印工連の常任理事会の中で、古紙100%用紙の生産が中止される動きがあるという話が出たことを報告しました。従って、事前に行政側にその情報を提供し、「古紙100%の用紙を使用」の一文削除か、別の対処方法をアピールするべきとの呼びかけを行いました。これに関して、木野瀬吉孝副理事長が次のように補足説明を行いました。

「古紙100%用紙の生産中止は時代に逆行するような決定と思われるがちなのですが、そうではありま

せん。行政の要望は、「白色度は上質紙かコート紙並み」、それでいて「古紙100%の紙」です。そういう紙を抄造するためには、膨大なエネルギーを必要とします。つまり、全く無駄なことをしているというのが現状です。全体の30%ほどがパーズンパルプの紙にすれば、無駄なエネルギーを使わずに済みます。100%古紙の用紙は、実は環境にマイナスなのです。そういう事実を行政側にアピールする必要がありますので、早急に啓蒙の行動を起こすべきだと思います」

このほか、従来の愛知県印刷産業連合会が3月1日付けで「愛知県印刷産業団体連絡会」と名称を改めたこと、能登半島地震に対して愛知県工組として5万円の義援金を石川県工組に贈ることが報告されました。

#### 4) 今後の事業等、日程について

5月以降の事業等の日程は次の通りです。

印刷寺子屋

日時：5月7日(月)午後7時20分、会場：愛知県印刷会館、テーマ：「私の目指す利益のあがる経営」、講師：高井昭弘副理事長

5月期理事会及び総代会

日時：5月18日(金)、会場：名古屋観光ホテル

印刷寺子屋

日時：6月4日(月)午後7時、会場：愛知県印刷会館、テーマ：「43歳、私の経営」、講師：東條秀樹氏(北東工業㈱社長)

技能検定試験(オフセット印刷作業)

実技試験：6月11日(月)～9月9日(日)の間(調整中)

学科試験：9月2日(日)

中部地区印刷協議会上期会議

日程：6月22日(金)・23日(土)、会場：高山グリーンホテル(岐阜県工組担当)



4月期理事会のもよう

#### 環境セミナー

日時：7月4日(水)午後2時～4時30分、会場：名古屋都市センター、テーマ：「攻めと守りの環境対応セミナー」、講師：寺田勝昭氏(全印工連専任講師)

工場見学会

期日：7月13日(金)・14日(土)、訪問先：リョービ㈱ 広島東工場、㈱アスコ

7月期支部長会・理事会

日時：7月18日(水)午後3時30分、会場：愛知県印刷会館

印刷寺子屋

日時：8月6日(月)午後7時、講師：桜井隆太氏(桜井グラフィックシステムズ㈱社長)

9月期持出理事会

期日：9月14日(金)・15日(土)

新入会員

\*㈱アートワークナカハラ

代表者：福西晋輔 住所：〒445-0062 西尾市丁田町左81-3 TEL0563-56-1116

\*㈱岩瀬印刷

代表者：岩瀬秀嗣 住所：〒445-0877 西尾市山下町西八幡山125-2 TEL0563-54-4520

KONICA MINOLTA

プロフェッショナル新潮流 デジタル化によるスキルレス時代の到来

**プリンターの生産性と低コスト**

**A4/51枚** 1分当り  
A4フルカラーを最大51枚(A4)/分という大きな生産力で、迅速な検版作業をサポート。またショートラン印刷にも対応できます。  
【生産性】

**多種用紙対応**  
近似した再現性と多彩な用紙での出力  
画像・文字再現に忠実なカラーブルーフが安価に出力できます。そして色校正での出力回数を減らし、一層のコストダウンをはかります。  
【低コスト】

**A3 Wide**  
A4トンボ付を2面付の出力サイズ  
印刷における実用面を考慮した、A4トンボ付を2面付で出力できる実用性が、出力時間やペーパーの節約に役立ちます。  
【実用性】

**重合法トナー**  
高い画像・文字品質を実現  
一層広い色域を有するトナーの開発。また重合法トナーの技術により均一粒状を実現し、ハイエンドDDCPIに匹敵する再現品質が得られます。  
【再現性】

**プリンターの実用性と再現力**

**Pagemaster Pro**  
ハイクオリティカラーレーザーブルーフ

本社：〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2 TEL.03-5297-5602(代)  
名古屋支店：〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋しらかわビル10F/TEL.052-231-6277(代)

コニカミノルタ グラフィックイメージング株式会社

**DIC**

多様化するニーズに応じて

大日本インキ化学工業株式会社  
名古屋支店 〒460-0001 名古屋市中区栄1-7-5 TEL.052-35-5322  
DICホームページ <http://www.dic.co.jp/>

数値プロセスインキ FUSION G  
100%材粉無塵インキ ナチュラルリス100  
新世代エッチング プレサート

**Presarto**

## グリーンプリンティング認定工場

◆第4期認定/申請受付中◆ 締切日：平成19年 5月31日(木)



(社)日本印刷産業連合会  
グリーンプリンティング認定事務局

(社)日本印刷産業連合会では、かねてより要望の強かった印刷業界の環境自主基準「日印産連「オフセット印刷サービス」グリーン基準」に基づいた印刷認定制度「グリーンプリンティング認定制度」を創設、昨年9月から認定を開始し、平成19年3月現在、認定工場53工場が誕生しました。これらは大きく各マスコミ紙に取り上げられています。

そこで、印刷業界の各会員企業の皆様方へ、本制度の概要と特徴、お申込方法等につきまして、下記のとおりご案内申し上げます。

### 記

#### ◆本制度の概要

本認定制度は、日印産連グリーン基準（工程及び事業者の取組）を達成した工場に対し客観的評価による認定を行うもので、認定された工場は環境優良工場としてクライアント等社会に対し、幅広くPRすることができる制度です。

#### ◆本制度の特徴とメリット

- ①公表されている認定評価チェックシートを用い、事前に自己評価ができます。
- ②該当工程の基準の70%達成（一部必須項目あり）で認定を受けることができます（3年間有効）。
- ③G/P認定審査員による指導、助言等を受けながら認定を受けることができます。追加費用、事前のコンサルタント等は一切必要ありません。
- ④学識経験者、マスコミ、クライアント業界等からなる認定委員会が判定を行いますので、信頼性ある制度として社会的に高く評価されています。
- ⑤認定工場は、その証である「グリーンプリンティングマーク（GPマーク）」を名刺、ホームページ等に表示することができ、環境経営に積極的な企業として評価されます。
- ⑥認定工場のみが印刷製品にGPマークを表示できます。よって、GPマークを付けたいクライアントは認定工場に印刷を発注することになります（GPマーク使用料は無料です）。
- ⑦ISO14001認証登録工場は、現地審査が免除されます。また、GP認定取得後、ISO14001認証に挑戦する工場は、GP認定の環境活動をISO14001に活用することができます。

#### ◆グリーンプリンティング認定工場料金一覧（組合員価格）

（単位：円）

従業員規模	認定申請料	審査料	認定登録料	合計
9人以下	25,000	40,000	20,000	85,000
10～19人	27,000	80,000	20,000	127,000
20～29人	28,000	130,000	20,000	178,000
30～49人	29,000	180,000	20,000	229,000
50～99人	29,000	230,000	20,000	279,000
100～149人	29,000	280,000	20,000	329,000
150～199人	29,000	330,000	20,000	379,000
200～249人	29,000	380,000	20,000	429,000
250～299人	29,000	430,000	20,000	479,000
300人以上	29,000	480,000	20,000	529,000

※1）従業員規模の人数には、従業員のほか役員も含まれます。

※2）3年毎に更新審査が行われ、上記「認定申請料」および「認定登録料」は免除となります。更新審査費用は上記「審査料」のみとなります。

◆グリーンプリンティング認定窓口（申請書等は下記HPよりダウンロードできます）

日印産連グリーンプリンティング認定事務局 電話 03-3553-6051 URL www.ifp.or.jp/

日印産連

第3回グリーンプリンティング認定工場  
㈱エムアイシーグループ本社が認定

(社)日本印刷産業連合会は、「第3回グリーンプリンティング工場認定委員会」において、グリーンプリンティング(GP)認定工場9工場(9社)を決定しました。認定有効期限は平成22年3月27日までです。

今回の認定で平成18年度認定工場数は合計53工場(44社)となりました。

第3回GP認定工場に、愛印工組西尾支部の㈱エムアイシーグループ(三浦康彦社長/西尾市道光寺町東縄65)が認定されました。

同社の他、今回認定を受けました工場は以下の各社です。第一共同印刷㈱(富山県富山市)、三興平版㈱(東京都墨田区)、㈱プレス(東京都江東区)、㈱ドルックス(東京都中央区)、三報社印刷㈱江戸川工場(東京都江戸川区)、関東印刷㈱(埼玉県日高市)、㈱プレスメディア亀田センター(新潟県新潟市)、千歳印刷㈱(北海道千歳市)。

### 「ソイシール」廃止へ

米国大豆協会 使用許諾業務を終了

日本で大豆油を使用したインキが製造され始めて約10年。石油に代え大豆油をベースにした大豆油インキは、環境に配慮したインキとして高い使用率があります。この大豆油インキで印刷したことを保証するのが「ソイシール」です。ところがこの「ソイシール」が近く消える見通しとなりました。

アメリカ大豆協会は、1995年から日本でのアメリカ産大豆輸入促進策の一環として、大豆油・大豆タンパクを一定量(6~40%)含むインキを製造・使用するインキ・印刷会社・広告代理店・印刷物制作会社に対し、3種類のソイシールをそれぞれの目的において使用許諾同意書を交わし、ソイシール使用許可・発行を行ってきました。1996年には大豆油を使用した第1号インキが製造され、多くのインキ・印刷会社の登録が行われました。その結果、2003年の統計(印刷インキ工業連合会)では、年間インキ

生産量約44.7万トンの中、33.2%を占める平版インキにおいて、67.4%が大豆インキが占めるまでになっております。また、1998年~2006年の同協会のソイシール登録集計では、約40社のインキ会社が大豆インキの製造を登録し、5,032社の印刷関連会社がソイシール使用の登録を行っています。

しかし、今回の「ソイシール」廃止に至った理由についてアメリカ大豆協会では、年間登録件数が2003年の993社をピークに、2006年には309社と下降傾向にあるのと、これまでインキの成分分析を依頼していた米国ナショナルソイインクセンター(NSIC)が昨年閉鎖されたことなどを理由に挙げています。

こうした背景からソイシールの使用許諾契約業務は終了の方向にあり、広く定着したソイシールもここにきて姿を消すことになったわけです。

(但し、2011年8月末の使用許諾契約終了後3年間は猶予期間としてソイシールの使用は可能です。大豆油インキの販売は継続されます)



見極めろ！目が大切です。

高機能化された東洋インキの製品群  
きっと大きな利益を約束します。

I&I 東洋インキ

イースタンインターフェイス  
I&I 東洋インキ

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112

身近な催し物のお知らせ（愛印工組関係）

開催日時	事業・行事、場所、備考
5月18日(金) 16:00～	事業・行事 平成19年度 通常総代会 場所 名古屋観光ホテル 2階 曜の間 5月期理事会(15:00～) 総代会(16:00～)
6月4日(月) 19:00～20:30 (予定)	事業・行事 印刷寺子屋 (愛印工組 経営革新委員会 勉強会) 場所 愛知県印刷会館 3階 会議室 ・講師：東條秀樹氏(北東工業㈱社長) ・定員20名 ・テーマ：「43歳・私の経営」・参加費無料 ・問い合わせ、申込みは事務局まで
6月9日(土) 13:30～16:00	事業・行事 メディアユニバーサルデザインセミナー (愛印工組) 場所 ウィルあいち 会議室 5 全国青年印刷人協議会 中部ブロック協議会と共催
7月13日(金) ～14日(土)	事業・行事 見学会(愛印工組 経営革新委員会) 場所 ・リョービ㈱広島工場 ・㈱アスコ(いずれも広島県福山市) 参加費、定員等の詳細は調整中。 参加の予約は受付いたしません。
7月18日(水) 15:30～	事業・行事 平成19年度 第1回支部長会 7月期理事会 場所 愛知県印刷会館 3階 会議室 備考
8月6日(月) 19:00～20:30 (予定)	事業・行事 印刷寺子屋 (愛印工組 経営革新委員会 勉強会) 場所 愛知県印刷会館 3階 会議室 ・講師：桜井隆太氏(桜井グラフィックシステムズ㈱代表取締役社長) ・定員20名 ・テーマ：未定 ・参加費無料 ・問い合わせ、申込みは事務局まで

身近な催し物のお知らせ（関連）

開催日時	事業・行事、場所、備考
5月25日(金)	事業・行事 第55回 GCJ東京大会 場所 横浜シボリア ・大会記念講演会 講師 広村俊悟氏 凸版印刷㈱広報本部長 ・大会式典 表彰式

## 改正男女雇用機会 ～改正に沿った雇用管理

急速な少子・高齢化の進行により、人口減少社会の到来という事態に直面しています。それだけに、以前にもまして労働者が性別により差別されることなく、かつ、働く女性が母性を尊重されつつ、その能力を充分発揮できる雇用環境を整備することが、重要な課題となってきました。今回、男女雇用機会均等の更なる推進のため、「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保などに関する法律及び労働基準法の一部を改正する法律」(以下、改正法)が成立し、4月1日から施行されました。

以下、その改正の概要について紹介します。

1) 性別による差別禁止の範囲の拡大  
女性に対する差別の禁止が男女双方に対する差別の禁止に拡大され、男性も均等法に基づく調停など、紛争の解決援助が利用できるようになりました。

2) 禁止される差別の追加、明確化

募集・採用・配置・昇進・教育訓練・福利厚生・定年・解雇に加えて、降格、職種変更、パートへの変更などの雇用形態の変更、退職勧奨、雇止めについても、性別を理由とした差別は禁止されました。また、配置に業務の配分や権限の付与が含まれることを明確にしています。

3) 間接差別の禁止

間接差別とは、性別以外の事由を要件とする措置であって、他の性の構成員と比較して、一方の性の構成員に相当程度の不利益を与えるものを、合理的な理由がない時に講ずることをいいます。

間接差別の例としては次のことがあります。

労働者の募集または採用にあたって、労働者の身長、体重または体力を要件とすること。コース別雇用管理における「総合職」の労働者の募集または採用にあたって、転居を伴う転勤に応じることができることを要件とすること。労働者の昇進にあたり、転勤の経験があることを要件とすること。

(注)業務遂行に必要ななど、合理的な理由がある場合に、身長・体重要件や転勤要件を課せなくなるわけではありません。

## 均等法がスタート のために、今一度点検を～

4) 妊娠・出産等を理由とする不利益取扱の禁止  
妊娠・出産・産前産後休業を取得したことを理由とする解雇に加え、政令で定める理由による解雇その他不利益取扱も禁止されました。

政令で定める理由は以下の通りです。

均等法の母性健康管理措置を求めた、または受けたこと。労働基準法の母性保護措置を求めた、または受けたこと。妊娠または出産による能率低下、または労働不能が生じたこと。

5) 妊娠中・産後1年以内の解雇の無効

妊娠中・産後1年以内の解雇は、「妊娠・出産・産前産後休業などによる解雇でないこと」を事業主が証明しない限り無効となります。

6) セクシャルハラスメント対策

セクシャルハラスメント対策は、女性とともに男性も

対象になりました。

7) 母性健康管理措置

事業主は、妊娠中及び出産後の健康管理に関する措置(時差通勤、勤務時間の短縮)を講ずることが義務となります。こうした措置を講じず、是正指導にも応じない場合、企業名公表の対象となるとともに、紛争が生じた場合、調停など紛争解決援助の申し出を行うことができるようになりました。

8) ポジティブ・アクションの推進

ポジティブ・アクション(男女間の格差解消のための積極的取り組み)に取り組む事業主が実施状況を公開するにあたり、国の援助を受けることができます。

9) 過料の創設

厚生労働大臣(都道府県労働局長)が事業主に対し、男女均等取り扱いなど均等法に関する事項について報告を求めたにもかかわらず、事業主が報告しない、または虚偽の報告をした場合は過料に処せられます。

(詳しくは、厚生労働省雇用均等児童家庭局、各都道府県労働局雇用均等室までお問い合わせ下さい)。

### 家内労働旬間 ～家内労働法を守りましょう～

愛知労働局・労働基準監督署では、6月21日から31日まで、「家内労働旬間」を実施します。

<委託者は>

- ・家内労働者に「家内労働手帳」を交付して、委託条件を明確にしましょう。
- ・最低賃金を守りましょう。
- ・家内労働による災害の防止に努めましょう。
- ・「委託状況届」を提出しましょう。(届出先：労働基準監督署)

<家内労働者は>

- ・委託者から「家内労働手帳」を受け取り、記入された事項を確認しましょう。
- ・家内労働による災害を防ぐため、機械器具などの点検をしましょう。

<これから内職を希望する人は>

・うまい話にご用心。「インチキ内職」の被害に遭わないようにしましょう。

「インチキ内職」にご用心。

誰にでもできる簡単な仕事で、高収入が得られるというような「うまい仕事」は、普通あり得ません。

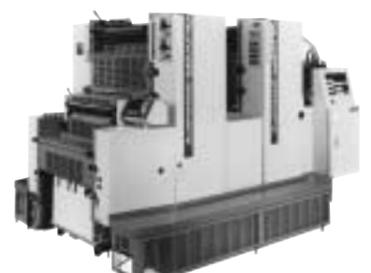
「インチキ内職」で問題となった事例

- ・内職講習会と称して、多額の受講料などを取るが、出来た製品については、種々の条件をつけて、買いたたいたり、買い上げを拒否する。
- ・相当の工賃収入が得られると宣伝し、高額な機械を市価よりも高く売りつけるが、殆ど仕事を回してもらえず。思うような収入が得られない。
- ・解約時に、返還するとして徴収した契約料などを返還しない。

このような「インチキ内職」の被害に遭わないためにも、内職を希望する方は注意が必要です。

問い合わせは、愛知県労働賃金課家内労働係(TEL052(972)0258、または、もよりの労働基準監督署まで)。

**NEW** サクラのベストセラーであるオリバー258EP II の実績をベースに開発されたかつてない省スペースタイプの菊半裁2色両面兼用機 **オリバー266EPZ登場!**



開発コンセプト  
**コンセプト1 省スペース**  
従来の菊半裁2色両面兼用機と比較して全長で約18%省スペース化(当社比)  
**コンセプト2 低価格志向**  
オリバー258EP とフレームの共用化をはかり、品質を落とさずコストの低減を実現  
**コンセプト3 A4サイズの印刷**  
菊半裁機でありながら、A4(297×200mm)の印刷まで可能  
**コンセプト4 高度な省力化装備を標準搭載**  
低価格志向のもとに一般的にオプション扱いとなる装備を標準搭載

主な標準装備  
自動版交換装置 全自動反転切替装置 連続給水装置  
 分割ブレード目盛り管理機構 対話型POD画面 コッキング装置  
 版見当リモコン装置



**株式会社 桜井グラフィックシステムズ**

本 社 東京都江東区福住2-2-9 〒135-0032  
 TEL(03)3643-1131(代) FAX(03)3643-1138  
 名古屋営業所 名古屋市中区上堀越町2-9-1 〒451-0084  
 TEL(052)524-5541(代) FAX(052)524-5545



株式会社 **イノウエ**  
**Inoue**

〒462-0854 名古屋市北区若葉通4-18-1  
 TEL 052/911-9211 FAX 052/911-3011  
 H.P. <http://www.k-inoue.co.jp>  
 E-mail: [net@k-inoue.co.jp](mailto:net@k-inoue.co.jp)



藤田 弘道氏  
(財)印刷図書館理事長

「新たな専門図書館」  
として更なる発展を!

環境浄化材料「光触媒」を活用し印刷物の付加価値を高めようと、「環境改善型印刷媒体」の開発に挑戦し、本格的な事業化に向け、プロジェクトチームを立ち上げた。その指揮を取るのが豊田氏である。

「光触媒は、太陽や蛍光灯などの光が当たると、その表面で強力な酸化力が生まれ、接触してくる有機化合物や細菌などの有害物質を除去する性質がある。これを活用し、印刷物への利用を考えた」という。「霧状の光媒体を既存の印刷物上に吹きかける方法」が取られている(実用新案を取得)。



前崎 正太郎氏  
昭和印刷㈱

「青年会の会員  
そして而立会の会長」

(財)印刷図書館(藤田弘道理事長)が創立60周年を迎えた。藤田理事長は印刷図書館の新たな発展について、その思いを語った。

「戦後の混沌とした時代の中で、いち早く印刷技術の進歩発展を通じて文化に貢献することを目的に、印刷図書館の設立を呼びかけた印刷業界の方々の行動は極めて高く評価され、誇りとするものである。印刷産業は日本経済の目覚ましい戦後復興から、経済成長を得て、バブル崩壊、平成不況と厳しい道のりを歩んできた。この間、各社の社史、年史編纂作業、調査研究事業

に印刷専門図書館として大きな貢献を果たし、併せて、印刷史懇談会、本木昌造記念講演、印刷技術史年表、ポスター展など、数々の実績を残してきた」と、印刷図書館の果たしてきたこれまでの功績をたたえた。

今後について、「この60周年を契機に、印刷図書館の将来設計を明確にし、業界が標榜する情報価値創造産業に対応できる『新たな印刷図書館』への発展を期待したい」と、印刷産業の専門図書館としての存在をアピールした。(印刷図書館創立60周年記念式典の席上で)。



豊田 均氏  
トヨタ印刷㈱

「環境改善型印刷媒体 光触媒、香料を利用」

「光媒体の塗布は、二次加工で行うため形状にこだわらず、厚紙や薄紙、合成紙、各種の印刷媒体に対応ができる」とし、「既存印刷物への付加価値転嫁をテーマに掲げ、印刷物を環境改善媒体に変化させることがポイントである。ラミネートやPP加工の感覚で利用していただくことができる」とPR。

印刷物の付加価値を高める光触媒による印刷物の提案は、環境問題がクローズアップされている今、大きなインパクトを提供できる。また、香料印刷にも意欲を燃やしている。

は「而立会にとってメリットもかなり大きな部分があるかと思う(4月18日/同会の総会での挨拶より)」と発言。慎重な言い回しながら、前向きな姿勢をみせる。「業界の将来を担う若手印刷経営者及び後継者の意識向上、知識習得のための...」(青年会の活動より)、「本会は印刷の担うべき任務を意識、人格の向上を期し...」(而立会会則より)という具合に両者には共通性も多い。業態変革、組織再編が必要となっている今、青年会会員、而立会会長という立場にある前崎氏は両者の掛け橋となる適任者といえそうだ。

愛印工組のマーケティング委員会に所属。また、青年会の会員でもある。更に今年4月、名古屋而立会の会長という大役についた。名古屋而立会と青年会、愛印工組とは直接的には関係はないが、愛印工組の多くの役員が而立会の出身者であり、青年会の会員の少ない会員も而立会に所属しているとなれば、三者は近い存在といえる。更に、まだ構想、検討の段階だが、青年会の業務を而立会に委託するという案が出されているだけに、而立会の会長となった前崎氏の動き、指導力に注目が集まる。而立会会長の立場として

印刷機材の総合商社  
(株)光文堂

名古屋市中区金山2-15-18  
TEL.052(331)4111  
FAX.052(331)4691



印刷業界をリードする、Power ある総合商社  
クロスメディアソリューション開発本部を設立

光文堂が誇る大きな魅力に、Produce(企画情報力)、Network(ネットワーク力)、Development(製品開発力)がある。これら3つが一体となり相乗効果を派生させ、総合商社としてのパワーに結び付いている。無論、全国津々浦々精力的に掛け回っている営業マンの力もさることながら、全国規模で開催される総合機材展「エクセレントプリンティングフェア」、この開催も忘れてはならない同社の大きな底力である。

こうした展開の中で、更に顧客に親しまれる光文堂を目指し、今回新たな部門として立ち上げたのが、「クロスメディアソリューシ

ヨン開発本部」である。このこの役目を光文堂では次のように説明している。「印刷業界を取り巻く環境は、予想以上の速いスピードと大きな変革をもたらしている。にもかかわらず、どのように対応しているのか、その対策に苦慮している印刷会社が多くあり、そうした企業は、結局波に乘れないまま現状に甘んじ、格差の広がりが生じている。こうした企業のお手伝いをしたい。発注者のマーケティング状況も含め、顧客のビジネスまでをサポートすることを目指し、一緒に考えていくことで最適なソリューションを提供する、いわば、顧

客とともに印刷ビジネスを考える。これが、クロスメディアソリューション開発本部の活動の狙いである」。

時宜を得た設立といえよう。印刷業界の環境変化は、紙媒体だけではビジネスが成り立たなくなってきた。そうした現状を踏まえ、ノウハウやソフトを企業の柱にすることが、多様な変化に対応する手段となっている。光文堂はその心強いアドバイザーである。

<光文堂推奨製品>

- ・オフ輪の紙粉によるトラブルを解消、紙粉除去装置「KBD ベーパークリーナー」
- ・オフ輪1台1,500万円の損紙節約「KBD EPLEX」
- ・オフセット印刷適正水製造装置「KBD アクア・ドリームシステム」、同「Jr.」
- ・電子ブック作成アプリケーション「KBD e-BOOK」
- ・カラーバーによる印刷物の品質管理装置「KBD クオリティレポーター」
- ・データ通信ソリューション「Gracias Primary」
- ・IR・乾燥システム「FAST DRY」

(写真は、光文堂ショールーム。機械の展示という従来の概念を越えた、新しいビジネスプラン提供の場となっている)

**SCREEN MEDIA TECHNOLOGY** **ここが違います。大日本スクリーンの CTP Workflow**

1 PDF1.4対応をはじめとする最新の  
コアテクノロジーでCTPをサポートする  
インテリジェントRIP



ネットワークプロダクション対応  
インテリジェントRIP  
**Trueflow**

2 目的別に選択できるPlateRiteシリーズ



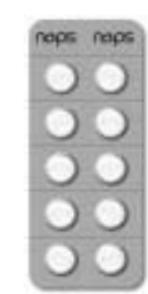
四六半裁判対応  
サーマルプレートレコーダー  
**PlateRite4300**

四六全判対応  
サーマルプレートレコーダー  
**PlateRite8600**

**株式会社 メディアテクノロジー ジャパン**  
本 店 / 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル <http://www.mtjn.co.jp/>  
名古屋支店 / 〒460-0003 名古屋市中区錦2-14-21 円山ニッセイビル 052(218)6400

**大日本スクリーン製造株式会社**  
メディアテクノロジーカンパニー <http://www.screen.co.jp/>  
〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上4丁目

**napsは、DTPの?に  
処方箋をお出しいたします。**



DTPのソフトウェアとハードウェア環境は、ますます高機能化、高性能化し、ネットワーク対応の度合いを進化させています。その一方で異なるOS間のデータ互換、クロスプラットフォーム化の現在、ナプスは最適なDTP環境をご提案、ご提供させていただきます。

**株式会社 ナプス**  
〒466-0058 名古屋市中区白鳥三丁目7番6号  
TEL.052(882)3481 FAX.052(882)3483



岡崎支部の総会(壇上は挨拶する吉川支部長)

## 岡崎支部・平成19年度総会 吉川支部長が組織拡大に意欲

岡崎支部(吉川正敏支部長)では、4月6日(金)午後5時30分より、岡崎ニューグランドホテルで平成19年度総会を開いた。総会には支部組合員21名のほか、来賓として白井紘一理事長、村瀬誠専務理事が出席した。

総会の冒頭、挨拶に立った吉川支部長は、「昨年度の岡崎支部の

事業は、各担当の委員長の皆さんのおかげで充実した活動ができたと思います」と前置きして、1年間の支部事業を振り返るとともに、委員長、支部組合員の協力に感謝の意を表した。また、吉川支部長は「19年度は岡崎支部組合員24社でスタートします」と報告するとともに、愛印工組の支部再編にともなう西三河地区の各支部の再編の状況を説明。最後に「本年度も岡崎支部の組合員数を拡大するように声をかけていきたいと思いません」と述べ、組織拡大に向け、積極的に取り組む姿勢を示した。

このあと、議案審議に入り、平成19年度事業計画及び予算案などを審議、決定した。このうち、事業としては例会はじめ、親睦家族旅行などが予定されている。

## 事務局だより

大型連休“ゴールデンウィーク”も終わりました。祝日となった日が4月29日、5月3日、4日、5日で、9連休を取る会社もあったようです。ところで、祝日となる日の呼び名をご存知ですか?テレビのクイズ番組でやっていましたが、恥かしながら全部言い当てる事ができませんでした。改正法にともない毎年変わっているようで、カレンダー屋さん泣かせのようです。ちなみに29日は「昭和の日」、3日は「憲法記念日」、4日は「みどりの日」、5日は「こどもの日」です。年間の祝日が以前と呼び名が変わってしまった日が結構あります。認識していないのはそれだけ年をとってしまったためでしょうか。組合員の皆さん方は連休をどのように過ごされましたか。

また、地震が起きました。石川県での能登半島地震に続き、三重県でもつい先ごろ地震が起き、亀山城の石垣が崩れたといわれています。日本列島本当に地震王国で、被害に遭わない土地などないぐらいです。能登半島地震に愛印工組から義援金を石川県工組に贈りました。被害に遭われた方々の速い復興を願っております。

事務局からのお願い。支部やグループでの活動状況があれば、是非お知らせ下さい。記事にしたいと思えます。

## お知らせ

世界4大印刷機材展「IGAS2007」が9月21日(金)~27日(木)の7日間にわたり、東京ビッグサイト全館を使い開催されます。今回のテーマは、「プリントメディアの未来-信頼と進化」を掲げ、展示規模は4,750小間。国内メーカーは無数の事、海外からも52社が参加します。アジア地区で開催される唯一

の国際機材展となり、内外のより優れた機材が公開されます。

また、この機材展に合わせ全印工連などが主催する「印刷コラボレーション展」が併催されます。このテーマには「進めよう業態変革。自ら情報発信、そしてネットワークづくり」を掲げております。コラボレーション展を通じ、ソリューションを提案する事により、ビジネス交流の成果を高めるのが大きな狙いです。今後の印刷業界の指針ともなるヒントがあります。是非お出掛け下さい。



「あいちの印刷」

No.426

平成19年5月10日発行

発行人 白井 紘 一  
編集 組織・共済委員会  
発行所 愛知県印刷工業組合  
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号  
TEL 052 962-5771(代表)  
FAX 052 951-0569

ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

E-mail アドレス [jimukyoku@ai-in-ko.or.jp](mailto:jimukyoku@ai-in-ko.or.jp)